

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【24182 産学イノベーション加速事業（産学共創基礎基盤研究）
24185 研究成果最適展開支援事業（A-STEP）
24186 知財活用支援事業（文部科学省）】

- 1 日時：平成22年9月14日（火） 16：40～17：10
- 2 場所：中央合同庁舎4号館 共用1208会議室
- 3 聴取者：白石議員、奥村議員、相澤議員、本庶議員、青木議員
外部専門家 3名（うち若手1名）
- 4 説明者：文部科学省 研究振興局 池田 研究環境・産業連携課、
橋爪 技術移転推進室長、能見 新技術革新室長 ほか

5 施策概要

・産学イノベーション加速事業（産学共創基礎基盤研究）

産学連携の領域を基礎研究領域まで拡大し、産学の対話の下、大学等が産業界全体で取り組むべき技術上の課題に貢献する基礎研究に取り組むことにより、産業競争力の強化及び大学等の基礎研究の活性化を図る。平成23年度は民間リソースを積極的に活用する枠組みとして発展・拡充する。

・研究成果最適展開支援事業（A-STEP）

実用化の可能性を検証するシーズ探索、企業との実用化に向けた共同研究開発等、それぞれの状況におけるニーズや課題の特性に応じた最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための産学共同研究に対する総合的かつシームレスな支援を実施する。平成23年度は、関係投資機関と連携した支援により、多様な民間投資を誘引し、大学等の研究成果のより迅速かつ効果的な実用化を促進する仕組みの導入を行う。

・知財活用支援事業

大学等の海外特許の取得支援、産学のマッチングの場の提供、特許のパッケージ化等の各種施策により、大学等の知的財産活動を支援し、大学等の研究成果の技術移転の促進を図る。平成23年度は、関係投資機関との連携により、大学等の保有する未利用特許の事業活用を加速する仕組みの導入を行う。

6 質疑応答模様

【奥村議員】：継続施策も新規施策も、プログラムとしての目標がしっかり書かれていないのでは無いか。10年後の経済効果、雇用創出などでは無く、例えば3年後に企業の集積が何社を目指すなどの途中の道筋、マイルストーンを示すべき。

以上